

地域医療支援病院業務報告書

静岡県知事 川勝 平太 様

開設者 住 所 静岡市葵区追手町5番1号
名 称 静岡市立清水病院
静岡市長 田 辺 信 宏
電 話 054-254-2111



平成24年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2第1項の規定により報告
します。

記

1. 地域医療支援病院の名称 静岡市立清水病院
2. 開設の場所 静岡市清水区宮加三1231
3. 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
4. 共同利用の実績
5. 救急医療の提供の実績
6. 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
7. 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法
8. 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
9. 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績
10. 患者相談の実績



3. 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

地域医療支援病院 紹介率	42.9%	算定期間	平成24年4月1日 ～平成25年3月31日
地域医療支援病9 院逆紹介率	76.1%	算定期間	平成24年4月1日 ～平成25年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		7,380人
	B：救急患者の数		868人
	C：初診患者の総数		19,246人

他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14,651人 (6,529人)
--------------------	---------------------

注1. 「地域医療支援病院紹介率」欄はA、Bの和をCで除した数に100を乗じて小数点以下1位まで記入すること。

それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

注2. 地域医療支援病院紹介率が60%以上80%未満の病院にあつては、承認後2年間で地域医療支援病院紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を併せて提出すること。

注3. 他の病院又は診療所に紹介した患者の数については、括弧内に「A：紹介患者の数」のうち、他の病院又は診療所に紹介した患者の数を併せて記入すること。

地域医療支援病院紹介率・逆紹介率 平成24年4月～平成25年3月

【紹介率】

(②紹介状を持参した初診患者数) + (④緊急的に入院し治療を必要とした患者の数)

× 100

①初診料算定患者総数 - (③休日・夜間に受診した救急患者の数 - ⑤休日・夜間に緊急入院し治療を必要とした救急患者の数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①初診料算定患者総数	1,776	1,996	1,819	2,178	2,291	1,909	1,971	1,917	1,907	2,063	1,878	2,063	23,768
②紹介状を持参した初診患者数	525	701	585	679	678	584	689	648	538	558	573	622	7,380
③休日・夜間の救急患者数	435	414	371	428	449	425	347	385	537	536	433	471	5,231
④緊急入院した救急患者数	64	73	64	67	71	69	83	68	68	86	74	81	868
⑤休日・夜間に緊急入院した患者	29	33	50	52	69	64	60	61	71	74	73	73	709
⑥初診患者数	1,370	1,615	1,498	1,802	1,911	1,548	1,684	1,593	1,441	1,601	1,518	1,665	19,246
紹介率	43.0%	47.9%	43.3%	41.4%	39.2%	42.2%	45.8%	44.9%	42.1%	40.2%	42.6%	42.2%	42.9%

【逆紹介率】

逆紹介患者数
初診患者数 × 100

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
⑥初診患者数	1,370	1,615	1,498	1,802	1,911	1,548	1,684	1,593	1,441	1,601	1,518	1,665	19,246
⑦逆紹介患者数	1,140	1,295	1,194	1,277	1,390	1,203	1,282	1,245	1,168	1,100	1,169	1,188	14,651
逆紹介率	83.2%	80.2%	79.7%	70.9%	72.7%	77.7%	76.1%	78.2%	81.1%	68.7%	77.0%	71.4%	76.1%

- ① 初診料を算定した患者数
- ② 紹介状を持参した初診患者数(静岡市立静岡病院、静岡市急病センターを除く)
- ③ 休日・夜間に治療を必要とした初診の救急患者数
- ④ 緊急的に入院し治療を必要とした初診の救急患者数
- ⑤ ④のうち休日・夜間に緊急入院した患者数
- ⑥ 紹介率及び逆紹介率算定式の分母となる初診患者数:初診料を算定した患者数 - (③休日・夜間の救急患者数 - ⑤休日・夜間に緊急入院した患者数)
- ⑦ 逆紹介患者数:診療情報提供料(I、II) + 地域連携計画管理料を算定した患者数

4. 共同利用の実績

(1) 共同利用の実績

(1) 病床の共同利用を行った医療機関の延べ数		13 施設
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数		13 施設
(2) 医療機器の共同利用を行った医療機関の延べ数		467 施設
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数		467 施設
(3) 研修施設の共同利用を行った医療機関の延べ数		0 施設
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数		0 施設
合 計	医療機関の延べ数	480 施設
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	480 施設
共同利用に係る病床利用率		0.71 %

注：当該年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

(2) 共同利用の範囲等

<p>1) 共同利用病床 5床</p> <p>2) 各検査室（CT、MRIなど）とその検査機器</p> <p>3) 講堂、会議室及び研究室とその設備</p>
--

注：当該病院の建物の全部もしくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

(3) 登録医療機関の名簿

別紙1のとおり

注：当該医療機関と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5 床
--------------	-----

5. 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した 救急患者の数	3,289人 (1,112人)
上記以外の救急患者の数	7,981人 (1,304人)
合 計	11,270人 (2,416人)

注：それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

別紙2のとおり

6. 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修の内容

別紙3のとおり

(2) 研修の実績

研修者数	1,766人
------	--------

注：前年度の研修生の実数を記入すること。

(3) 研修の体制

- 1) 研修プログラムの有無 有・無
- 2) 研修委員会設置の有無 有・無
- 3) 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
米川 甫	医師	外科	病院長	41年	
畑 隆志	医師	神経内科	副院長	38年	教育責任者
増田 昌文	医師	呼吸器内科	診療部長	28年	
岩崎 真也	医師	産婦人科	科長	22年	
上牧 務	医師	小児科	科長	25年	
森脇 五六	医師	麻酔科	科長	24年	
山崎 将典	医師	血管外科	科長	24年	
丸尾 啓敏	医師	外科	診療部長	32年	
窪田 裕幸	医師	消化器内科	科長	23年	
西山 雷祐	医師	救急センター	科長	26年	

平田 実千代	看護師	看護部	部長	40年	
川口 久美子	看護師	看護部	科長	36年	
大木 成美	看護師	看護部	科長	32年	
米津 苗子	看護師	医療安全管理室	技監	27年	
原田 晴司	薬剤師	薬剤科	科長	26年	
望月 克敏	診療放射線技師	放射線技術科	科長	28年	
藤田 雄一	臨床検査技師	検査技術科	科長	35年	

注：教育責任者については特記事項にその旨を記載すること。

(4) 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講義室1 (本館2階)	117.24m ²	プロジェクター、マイク、ビデオ、スクリーン、簡易蘇生訓練用人形、机、椅子
講義室2 (本館2階)	100.49m ²	机、椅子、スクリーン
研究室 (本館2階)	58.36m ²	PC、スクリーン、シャーカステン、机、椅子
図書室 (本館2階)	159.39m ²	机、椅子、PC、医学図書
会議室 (新館3階)	75.44m ²	机、椅子、ホワイトボード
看護研修室 (新館3階)	58.80m ²	机、椅子、ホワイトボード

7. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	病院長 米川 甫
管理担当者氏名	病院総務課長 渡辺 久訓 医事課長 杉浦 信久

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方箋、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報室 カルテ室 平成21年1月より電子カルテ導入	診療録 ターミナルデジット方式 その他 年度管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用実績	地域医療支援室	
	救急医療の提供実績	医事課	
	地域医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	地域医療支援室	
	閲覧実績	地域医療支援室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は、診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	地域医療支援室	

注：「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

8. 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	病院長 米川 甫
閲覧担当者氏名	地域医療支援室 山本正幸
閲覧の求めに応じる場所	地域医療支援室

<p>手続きの概要</p> <p>申込者による申請（電話・来所・文書など）</p> <p>申し込み用紙の記入（閲覧担当者：地域医療支援室が対応）</p> <p>事情等により臨機応変に対応する。</p> <p>↓</p> <p>閲覧責任者による決裁</p> <p>（事案により、地域医療支援委員会に審議・検討を行う場合あり）</p> <p>↓</p> <p>閲覧者へ可否の連絡（閲覧担当者より）</p> <p>↓</p> <p>閲覧の実施（地域医療支援室）</p>		
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

注：閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。

9. 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回
委員会における議論の概要	
(1) 開催回数 2回	
(2) 開催日時 ① 平成24年9月28日(金) 19:00~20:20	
② 平成25年3月25日(月) 19:00~20:10	
(3) 会議内容 (別紙4 参照)	

注：委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記入すること。

10. 患者相談の実績

患者相談を行う場所	医療福祉相談室、医事課相談室 他
主として患者相談を行った者（複数回答可）	医療ソーシャルワーカー2名、看護師2名、 社会福祉士1名
患者相談件数	14,962 件
患者相談の概要	
【相談内容等】	
① 健康相談（一般的な相談）	計 11,061 件
・療養中の心理的・社会的問題の解決・調和	895 件
・退院援助	9,913 件
・社会復帰援助（アルコール依存・引きこもり等）	16 件
・受診・受療援助	237 件
② 医療行為・医療事故・情報公開	16 件
③ 診療報酬等の費用負担	
・経済的問題の解決・援助調整・支払い相談	2,936 件
④ 職員の対応・接遇	29 件
⑤ 病院の設備、人員、運営体制等	47 件
⑥ その他	873 件
【対策】	
相談内容に応じ、公共機関、他の医療機関、施設及びその他関係部署と調整を行い、問題解決に努めた。	

注：患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。

医科

	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	関係
1	佐藤医院	佐藤敬治	清水区大坪2-3-12	胃腸科、外科、内科	無
2	OHARA MAKOTO大腸肛門科クリニック	小原 誠	清水区宮加三88-1	肛門外科、消化器外科	無
3	秋山眼科クリニック	秋山博紀	清水区春日1-6-20	眼科	無
4	アツミ胃腸科内科クリニック	渥美 清	清水区中之郷1-5-11	内科、胃腸科、小児科	無
5	池田眼科医院	池田享市	清水区江尻東1-1-35	眼科	無
6	磯貝医院	室井正彦	清水区草薙1-15-23	内科、消化器科	無
7	磯垣胃腸科外科医院	磯垣 誠	清水区興津中町1393-6	胃腸科、外科	無
8	宇山医院	宇山瑞穂	清水区殿沢2-6-20	内科、呼吸器科、消化器科	無
9	浦島メディカルクリニック	浦島哲郎	清水区押切1620	外科、内科、肛門外科、消化器外科	無
10	えぐち内科クリニック	江口豊壽	清水区日立町4-4	内科	無
11	草薙土屋外科医院	土屋和弘	清水区草薙1-25-35	外科、胃腸科、肛門科、循環器科、放射線科、心臓血管外科	無
12	土屋内科	土屋友彦	清水区七ツ新屋2-7-29	内科、消化器科、循環器科	無
13	中川内科小児科医院	中川欽也	清水区石川新町8-31	内科、小児科	無
14	花みずき通り内科クリニック	寺井く正	清水区西高町4-6	内科、脳神経内科	無
15	福地外科循環器科医院	福地照元	清水区七ツ新屋2-4-15	内科、循環器科、外科	無
16	古沢外科医院	古澤洋勝	清水区七ツ新屋427-11	外科、胃腸科、整形外科	無
17	松下医院	松下兼昭	清水区但沼町1317-2	内科、外科、消化器科、整形外科	無
18	松永医院	松永元良	清水区高橋南町7-68	内科	無
19	向井内科循環器科クリニック	向井英之	清水区草薙1-10-12	内科、循環器科	無
20	村上小児科	村上 仁	清水区草薙一里山19-7	小児科	無
21	望月クリニック	望月 篤	清水区大沢町2-14	泌尿器科、外科	無
22	八千代クリニック	川口 茂	清水区八千代町3-24	小児科、皮膚科	無
23	吉永医院	吉永治彦	清水区江尻東1-1-38	内科	無
24	岡外科胃腸科医院	岡 慎一郎	葵区本通西町39	外科、胃腸科、肛門科、整形外科、リハビリテーション科	無
25	青山内科小児科医院	青山茂夫	葵区北340-1	内科、胃腸科、小児科	無
26	楮内科医院	中村俊文	駿河区小鹿430-3	内科、消化器科	無
27	板井クリニック	板井茂行	駿河区曲金7-7-19	外科	無
28	梅ヶ島診療所	瀧浪慎介	葵区梅ヶ島1326	内科、小児科、アレルギー科、リウマチ科	無
29	岡本外科クリニック	岡本恭和	駿河区曲金4-7-3	外科、乳腺外科	無
30	県立大学前クリニック	松田 巖	駿河区谷田34-26	内科、外科、消化器科、胃腸内科、肛門外科、乳腺外科	無
31	田野医院	田野博宣	葵区千代田2-13-35	内科、小児科	無
32	トモノ医院	伴野陸久	葵区東鷹匠町24	内科、胃腸科、小児科、外科、整形外科、肛門科	無
33	東泉クリニック	東泉東一	葵区昭和町5-4 平野ビル5F	外科	無
34	東静岡クリニック	白川京佐	駿河区曲金6-7-15	内科、消化器科	無
35	マイクリニック大久保	大久保雅之	葵区川合2-1-20	消化器外科、肛門外科、小児科	無
36	まつとみクリニック	朝来野 弦	葵区上伝馬23-18	消化器科、小児科、外科、肛門科	無
37	松成内科クリニック	松成信彦	葵区大岩本町7-1	内科、消化器科、神経内科	無
38	日野医院	日野昌徳	清水区蒲原新栄66-2	内科、小児科	無
39	五十嵐医院	五十嵐直人	清水区蒲原3丁目11番13号	内科、外科、皮膚科、泌尿器科	無
40	折原内科医院	折原 伸	清水区蒲原中602-6	内科	無
41	風林堂クリニック	越川真理	清水区蒲原4-33-10	形成外科	無
42	鮎橋医院	鮎橋建夫	清水区由比北田467	内科、小児科	無
43	船越クリニック	川村直見	清水区北矢部830-12	内科、消化器科	無
44	多々良産婦人科医院	多々良 真	清水区興津中町1362-6	産婦人科	無
45	庄司産婦人科	庄司 潔	清水区江尻東1丁目4-1	産婦人科	無
46	南しみずメディカルクリニック 木内医院	木内英則	清水区上力町5-28	呼吸器内科、アレルギー科	無
47	宮地医院	宮地武彦	清水区下野西7-7	内科	無
48	草薙整形外科医院	水村博光	清水区草薙2丁目24-15	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科	無
49	原小児科医院	原 光宏	清水区神田町5-5	小児科	無
50	三上医院	三上 誠	清水区原56-12	内科、循環器科	無

	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	関係
51	高月医院	高月 誠	清水区上清水町3-1	皮膚科、泌尿器科、肛門科	無
52	三浦内科循環器科医院	三浦 進	清水区折戸521-10	内科、循環器科、放射線科	無
53	松井医院	松井園生	清水区千歳町14-39	内科	無
54	竹内内科	竹内 健	清水区巴町2-5	内科、リウマチ科、循環器科、皮膚科	無
55	佐野内科医院	佐野次穂	清水区八木間町1871	内科、小児科	無
56	かとう整形外科医院	加藤裕之	清水区袖師町1119-1	整形外科、リハビリテーション科	無
57	杉山医院	杉山好彦	清水区大手3-3-21	整形外科、外科、内科	無
58	有東坂しいのきクリニック	竹田定生	清水区有東坂5-14	内科、循環器科	無
59	眞内科クリニック	眞 重雄	清水区入江南町9-24	内科、消化器科、リハビリテーション科	無
60	青木内科医院	青木孝夫	清水区興津清見寺町143-17	内科	無
61	浅野医院	浅野 健	清水区木下町99	内科、消化器科	無
62	有原医院	有原 徹	清水区三保915-2	内科、精神科	無
63	くさなぎ宗内科医院	宗 幹之	清水区草薙143	内科、消化器科、小児科、アレルギー科	無
64	草ヶ谷医院	草ヶ谷雅志	清水区鶴舞町6-1	内科、小児科	無
65	しぶかわ内科クリニック	森 泰男	清水区渋川3-10-17	内科、腎臓内科	無
66	遠山医院	遠山 泰	清水区万世町1-3-25	内科	無
67	松山医院	松山 靖	清水区梅が岡9-24	内科、呼吸器科	無
68	吉田クリニック	吉田 学	清水区銀座1-23 吉田ビル1F	心療内科、精神科	無
69	斉藤胃腸科外科医院	斉藤全彦	清水区月見町10-20	胃腸科、外科	無
70	佐々木クリニック	佐々木寿彦	清水区押切1738-1	胃腸内科、内視鏡内科、外科	無
71	渡辺外科医院	渡辺善明	清水区草薙一里山3-33	外科、胃腸科、肛門科、皮膚科、整形外科	無
72	宮澤皮膚科医院	宮澤邦彦	清水区吉川241-1	皮膚科	無
73	福地皮膚科クリニック	福地君朗	清水区草薙2-26-11	皮膚科	無
74	阪部小児科医院	阪部嶺夫	清水区折戸1-2-30	小児科	無
75	大原医院	大原淳男	清水区江尻町5-12	小児科	無
76	ばば小児科	馬場善朗	清水区草薙3-15-10	小児科、アレルギー科	無
77	中村眼科医院	中村好邦	清水区天神1-11-24	眼科	無
78	水野眼科	水野和也	清水区北矢部824-1	眼科	無
79	杉山クリニック	杉山壽一	清水区七ツ新屋289-4	泌尿器科	無
80	えいもと内科消化器科クリニック	榮本昭剛	葵区瀬名3-38-9	内科、消化器科	無
81	諏訪医院	諏訪一郎	清水区桜橋町6-35	内科、循環器科、小児科	無
82	山田小児科医院	山田道夫	清水区本町5-6	小児科、内科	無

計 82医療機関

歯科

	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	関係
1	高尾歯科	高尾和秀	清水区辻5-1-40	歯科	無
2	相原歯科	相原元一	清水区村松原1-3-30	歯科	無
3	朝波歯科医院	朝波雄二	清水区上清水町3-10	歯科	無
4	あさみ歯科医院	佐藤麻美	清水区下清水町6-15	歯科	無
5	安部歯科医院	安部直也	清水区浜田町4-18	歯科	無
6	天野歯科医院	天野恵夫	清水区巴町10-9	歯科	無
7	アルファ会	富永雪穂	清水区中之郷1-4-11	歯科	無
8	安藤歯科医院	安藤宏光	清水区由比町屋原126	歯科	無
9	井川歯科医院	井川利幸	清水区神田町1-37	歯科	無
10	井川歯科医院	井川智子	清水区江尻町10-28	歯科	無
11	いとう歯科医院	伊藤暢秀	清水区鶴舞町3-1	歯科	無
12	岩上歯科医院	岩上正博	清水区有度本町3-17	歯科	無
13	宇佐美歯科医院	宇佐美孝之	清水区蒲原3-23-12	歯科	無
14	江川(八千代)歯科医院	江川裕之	清水区八千代町9-24	歯科	無
15	エガワ歯科医院	江川靖彦	清水区梅田町2-1	歯科	無
16	大石歯科医院	大石康雄	清水区北脇196-9	歯科	無
17	オオタキ歯科医院	大滝義晴	清水区緑が丘町18-43	歯科	無
18	小沢歯科	小澤孝司	清水区北矢部町1-14-1	歯科	無
19	河村歯科医院	河村孝憲	清水区草薙3-5-20	歯科	無
20	河村歯科医院	河村孝浩	清水区万世町1-6-29	歯科	無
21	グリーン歯科	宇野 毅	清水区天王南4-20	歯科	無
22	クリタ歯科医院	栗田定明	清水区押切1165-1	歯科	無
23	こじま歯科医院	児島俊彦	清水区岡町3-23	歯科	無
24	小宮山医院歯科	小宮山まり子	清水区宮下町9-10	歯科	無
25	さくらばし歯科医院	渡邊宏春	清水区桜が丘町1-5	歯科	無
26	佐々木歯科医院	佐々木康子	清水区江尻町10-12	歯科	無
27	鈴木歯科	鈴木政文	清水区駒越南町1-11	歯科	無
28	太陽歯科	小林弘幸	清水区大坪2-5-38	歯科	無
29	瀧歯科医院	瀧 直行	清水区谷田1-1	歯科	無
30	タムラ歯科	田村史之	清水区石川新町1-20	歯科	無
31	つかはら歯科医院	塚原 満	清水区下野西3-20	歯科	無
32	つちや歯科	土谷尚之	清水区庵原町134-19	歯科	無
33	東海歯科	武内重明	清水区堂林2-15-16	歯科	無
34	中根歯科医院	中根慎介	清水区折戸5-1-11	歯科	無
35	名取歯科	名取愛一郎	清水区港町1-2-17	歯科	無
36	はまかぜ歯科	望月和哉	清水区蒲原堰沢180-1	歯科	無
37	ひぐち歯科医院	樋口雅規	清水区草薙一里山23-10	歯科	無
38	樋口歯科医院	樋口光司	清水区興津本町217	歯科	無
39	平田歯科医院	平田伸志	清水区由比町屋原156-3	歯科	無
40	本間歯科医院	本間義章	清水区草薙1-8-3	歯科	無
41	前田歯科医院	前田良一	清水区富士見町2-17	歯科	無
42	丸山歯科	丸山嘉彦	清水区江尻東3-4-4	歯科	無
43	宮城島歯科医院	宮城島 賢	清水区三保312-9	歯科	無
44	望月歯科	望月 亮	清水区桜橋町2-1	歯科	無
45	望月歯科医院	望月一道	清水区由比432-4	歯科	無
46	大関歯科医院	大関卓道	清水区興津中町87	歯科	無
47	坂本歯科医院	坂本 諭	清水区小島町256-1	歯科	無
48	馬越歯科医院	馬越秀雄	清水区辻1-4-11	歯科	無
49	河野歯科医院	河野重記	清水区宮代町9-9	歯科	無

	医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	関係
50	志茂野歯科医院	志茂野 稔	清水区秋吉町2-41	歯科	無
51	恵愛歯科医院	荒瀬整孝	清水区天神2-5-1	歯科	無
52	大野歯科医院	大野二郎	清水区七ツ新屋2-6-11	歯科	無
53	続 歯科	石田常幸	清水区辻1-1-9 青木ビル3F	歯科	無
54	安藤歯科クリニック	安藤秀樹	清水区木の下町213	歯科	無
55	兼子歯科医院	兼子晶次	清水区万世町2-7-4	歯科	無
56	大野歯科医院	大野剛児	清水区蒲原新田2-13-2	歯科	無
57	井川歯科医院	井川武治	清水区興津中町398-3	歯科	無
58	朝浪歯科医院	朝波 修	清水区入江1-8-28	歯科	無
59	大塔歯科クリニック	大塔雄二	清水区八木間町1701	歯科	無
60	木村歯科医院	木村賢太	清水区銀座13-12	歯科	無
61	静岡市障害者歯科保健センター	服部 清	葵区城東町24-1	歯科	無

計 61医療機関

No.	職 種	氏 名	勤務の態様	勤 務 時 間	備 考
1	医師	米 川 甫	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
2	医師	畑 隆 志	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	神経内科
3	医師	藤 井 浩 治	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	脳神経外科
4	医師	杉 浦 丹	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	皮膚科
5	医師	勝 又 廣 重	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	内科
6	医師	今 井 正 樹	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	内科
7	医師	望 月 康 弘	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	血液内科
8	医師	伊 藤 敦 史	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	神経内科
9	医師	堀 真	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	神経内科
10	医師	淺 利 博 基	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	神経内科
11	医師	増 田 昌 文	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	呼吸器内科
12	医師	吉 富 淳	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	呼吸器内科
13	医師	土 屋 智 義	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	呼吸器内科
14	医師	伊 波 奈 穂	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	呼吸器内科
15	医師	芦 澤 洋 喜	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	呼吸器内科
16	医師	藤 田 総 文	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	呼吸器内科
17	医師	窪 田 裕 幸	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	消化器内科
18	医師	池 田 蒼	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	消化器内科
19	医師	川 崎 真 佑	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	消化器内科
20	医師	松 浦 友 春	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	消化器内科
21	医師	小 池 弘 太	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	消化器内科
22	医師	平 澤 正 次	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	循環器内科
23	医師	大 内 武	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	循環器内科
24	医師	中 村 洋 範	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	循環器内科
25	医師	上 牧 務	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	小児科
26	医師	明 貝 路 子	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	小児科
27	医師	一 色 史 枝	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	小児科
28	医師	白 井 晴 己	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	小児科
29	医師	山 科 な お み	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	小児科
30	医師	丸 尾 啓 敏	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
31	医師	西 山 雷 祐	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
32	医師	小 路 毅	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
33	医師	東 幸 宏	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
34	医師	土 屋 博 紀	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
35	医師	片 橋 一 人	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
36	医師	川 村 崇 文	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
37	医師	谷 口 正 美	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	乳腺外科
38	医師	山 崎 將 典	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	血管外科
39	医師	奥 山 邦 昌	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
40	医師	丹 治 敦	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
41	医師	菊 池 謙 太 郎	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
42	医師	大 矢 昭 仁	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
43	医師	榮 利 昌	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
44	医師	吉 岡 淳 思	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
45	医師	藤 井 武	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
46	医師	福 地 正 仁	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	脳神経外科
47	医師	水 村 幸 之 助	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	脳神経外科
48	医師	深 谷 雷 太	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	脳神経外科
49	医師	釜 本 大	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	脳神経外科

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

No.	職 種	氏 名	勤務の態様	勤 務 時 間	備 考
50	医師	加茂真理子	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	皮膚科
51	医師	馬場裕子	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	皮膚科
52	医師	野村尚志	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	皮膚科
53	医師	稲土博右	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	泌尿器科
54	医師	臼井幸男	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	泌尿器科
55	医師	立岡和弘	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	産婦人科
56	医師	岩崎真也	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	産婦人科
57	医師	小山内久人	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	産婦人科
58	医師	八木知子	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	産婦人科
59	医師	磯部まり子	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	産婦人科
60	医師	長田康介	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	眼科
61	医師	杉山 敦	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	眼科
62	医師	米山優実	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	放射線診断科
63	医師	精松沙織	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	放射線診断科
64	医師	尾崎正時	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	放射線治療科
65	医師	森脇五六	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	麻酔科
66	医師	池内 忍	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	口腔外科
67	医師	高森康次	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	口腔外科
68	医師	道端 彩	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	口腔外科
69	医師	森田麻友	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	口腔外科
70	医師	坂元隆一	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	リハビリテーション科
71	医師	清河國仁	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	リハビリテーション科
72	医師	寺田忠史	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	病理診断科
73	医師	大島洋一	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医
74	医師	大嶋進史	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医
75	医師	岩井貴洋	常勤-専任	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医

月日	研修名	会場	主催	対象	院内参加者数	外部参加者数
4月25日	清水整形外科症例検討会(第39回) 症例を持ち寄り、10例を検討 座長:整形外科長 奥山邦昌	清水病院	清水病院整形外科	院内整形外科医師、地域の病院の整形外科医師及び開業医	7	13
6月6日	院外処方協議会 ・新採用医薬品の連絡 ・診療報酬関係協議 ・疑義照会 ・トラブル事例の報告 等	清水病院	清水病院薬剤科	院内医師・薬剤師・看護師・事務及び院外薬局薬剤師	7	4
6月8日	第36回静岡市外科病診連携勉強会 「腹部救急十番勝負」 外科診療部長 丸尾啓敏	ホテルセン チユリー静岡	清水医師会 静岡医師会	清水医師会員及び静岡医師会員	18	39
6月14日	平成24年度清水地区病診連携交流会 ① 平成23年度病診連携の実績報告 地域医療支援室 山本正幸 ② 講演「内視鏡下顕微鏡椎間板ヘルニア摘出術の治療成績」 整形外科科長 奥山邦昌	マナーハウス エリザベート	清水病院 清水医師会 清水区歯科医師会	院内医師・看護師、清水医師会員及び清水区歯科医師会役員	84	74
6月22日	感染対策研修会(平成24年度第1回) ① 標準予防策について ② 感染経路別予防策について ③ 効果的な手洗い方法について ④ 針刺し事故防止について ⑤ CDアウトブレイク発生対応について ⑥ 感染防止対策室の役割、活動について 院内各部署からの報告	清水病院	清水病院感染対策委員会	院内職員及び地域の医療従事者	177	14
6月28日	CPC(臨床病理検討会)(平成24年度第1回) 「急性呼吸不全で死亡した一例」 事例発表者:内科医師 岩井貴洋	清水病院	清水病院臨床研修管理	院内職員及び地域の医療従事者	8	1

7	7月14日	地域リハビリテーション支援センター研修会 テーマ:スライディングシートの使い方 講師:渡辺修司他4名(理学療法士)	住宅シヨールーム(ノダシヨールーム)	清水病院リハビリテーション技術科	院内職員及び地域のリハビリ従事者	5	33
8	7月26日	CPC(臨床病理検討会)(平成24年度第2回) 「誤嚥性肺炎で死亡した一例」 事例発表者:内科医師 大嶋進史	清水病院	清水病院臨床研修管理委員会	院内職員及び地域の医療従事者	10	2
9	8月1日	院外処方協議会 ・新採用医薬品の連絡 ・在宅医療関係 ・疑義照会 ・トラブル事例の報告 等	清水病院	清水病院薬剤科	院内医師・薬剤師・看護師・事務及び院外薬局薬剤師	8	5
10	8月24日	地域リハビリテーション支援センター研修会 テーマ:在宅呼吸療法について 講師:山本伸育他4名(理学療法士)	清水テラルサ	清水病院リハビリテーション技術科	院内職員及び地域のリハビリ従事者	5	70
11	9月5日	清水医師会学術講演会 「最近の過活動膀胱治療について」 泌尿器科 科長 稲土博右 「泌尿器科手術の愛選」 泌尿器科 科長 臼井幸男	カーニープレイス清水	清水医師会	清水医師会員	2	29
12	9月27日	CPC(臨床病理検討会)(平成24年度第3回) 「上部消化管出血を伴った肝不全の一例」 事例発表者:内科医師 大島洋一	清水病院	清水病院臨床研修管理委員会	院内職員及び地域の医療従事者	13	2
13	9月27日	災害医療研修会 「災害時における実践的な医療救護とトリアージについて」 外科兼救急センター科長 西山雷祐	清水保健福祉センター	清水医師会 清水区歯科医師会	清水医師会員	2	19
14	10月3日	院外処方協議会 ・新採用医薬品の連絡 ・院外処方せんの有効期間について ・疑義照会 ・トラブル事例の報告 等	清水病院	清水病院薬剤科	院内医師・薬剤師・看護師・事務及び院外薬局薬剤師	8	5

15	10月5日	医療安全研修会(平成24年度第1回) 特別講演「コミュニケーションエラー防止と医療安全」 講師:東京都看護協会会長 前・慶應義塾大学看護医療学 部教授 嶋森好子先生	清水病院	清水病院 委員会 医療安全管理室	院内職員及び地域の医療従 事者	200	26
16	10月12日	清水医師会学術講演会 「血管内皮機能と血栓症について」 副院長 畑 隆志	カーニープ レイス清水	清水医師会 日本脳卒中協会静岡県 支部	清水医師会員	5	15
17	10月19日	感染対策研修会(平成24年度第2回) ①『呼吸器ケア委員会による活動報告』・呼吸器ケア委員会 ②『サーベランスについて』 講師:医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 医療環境管理室 感染管理認定看護師 夏目美恵子先生	清水病院	清水病 院	院内職員及び地域の医療従 事者	190	10
18	10月25日	CPC(臨床病理検討会)(平成24年度第4回) 「呼吸不全により死亡した膝窩の一例」 事例発表者:内科医師 岩井貴洋	清水病院	清水病院臨床研修管理	院内職員及び地域の医療従 事者	18	1
19	12月5日	院外処方協議会 ・新採用医薬品の連絡 ・疑義照会 ・トラブル事例の報告 等	清水病院	清水病院薬剂科	院内医師・薬剤師・看護師・事 務及び院外薬局薬剤師	8	5
20	1月24日	CPC(臨床病理検討会)(平成24年度第5回) 「肺血栓塞栓症により発症した心不全の一例」 事例発表者:内科医師 大島洋一	清水病院	清水病院臨床研修管理 委員会	院内職員及び地域の医療従 事者	11	1
21	1月31日	医療連携講演会 演 題 「静岡市における医療連携の現状と未来—イーツーネットを中心とし て—」 講演① 「静岡市における病診連携(総論)とS-net(がん術後連携)につ いて」 講演② 「疾患別医療連携(脳卒中、PAD、CKD、虚血性心疾患)につ いて」 講師:橋田外科医院 橋田 光治 先生 講師:東新田福地診療院 福地 康紀 先生	清水病院	清水病院 清水医師会	院内医師及び地域の医療従 事者	64	7

22	2月6日	院外処方協議会 ・新採用医薬品の連絡 ・後発品変更について ・疑義照会 ・トランプル事例の報告 等	清水病院	清水病院薬剂科	院内医師・薬剤師・看護師・事務及び院外薬局薬剤師	8	4
23	2月8日	感染対策研修会(平成24年度第3回) ①『針刺し・皮膚粘膜汚染について』 講師:清水病院 感染管理認定看護師 濱田敦子 ②『血液感染ウイルスについて ～C型肝炎を中心に～』 講師:清水病院 消化器内科科長 窪田裕幸医師	清水病院	清水病院感染対策委員	院内職員及び地域の医療従事者	160	16
24	2月9日	地域リハビリテーション支援センター研修会 テーマ:安全な安楽な起居移乗 講師:池ヶ谷昌宏他4名(理学療法士)	巴の園	清水病院リハビリテーション技術科	院内職員及び地域のリハビリ従事者	5	34
25	2月22日	清水医師会学術講演会 「普通のめまい・危険なめまい」 副院長 畑 隆志	カーニープ レイス清水	清水医師会内科医会	清水医師会員	3	26
26	3月15日	清水病院学術講演会 演題 「東日本大震災で我々が出来たこと、出来なかつたこと」 講師 岩手医科大学医学部法医学講座 岩手医科大学歯学部口腔顎顔面再建学講座 口腔外科分野 熊谷 章子 先生	清水病院	清水病院	院内職員及び地域の医療従事者	146	7
27	3月22日	医療安全研修会(平成24年度第2回) 演題 「転倒に及ぼす睡眠薬の影響」 講師 東京通信病院薬学部 部長 大谷 道輝 氏	清水病院	清水病院医療安全管理委員会 医療安全管理室	院内職員及び地域の医療従事者	126	6
					合計	1,298	468

平成24年度 第1回静岡市立清水病院地域医療支援委員会 概要

- 1 日時 平成24年9月28日（金）午後7時～午後8時20分
- 2 会場 清水病院 本館2階 会議室
- 3 出席者 委員長 米川甫清水病院長
 委員 松永元良清水医師会長、 青山茂夫静岡医師会長、
 高尾清水歯科医師会長 小林寛子静岡歯科医師会副会長、
 小林みどり県立大学教授、
 畑芳明静岡市保健衛生部長、 上松憲之病院局長、
 増田昌文清水病院診療部長
 <事務局> 望月泰清水病院事務局長
 渡辺久訓病院総務課長
 杉浦信久医事課長
 地域医療支援室 池ヶ谷副看護師長、薩川主任看護師、山本主査、
 山梨主査
 欠席委員 日野昌徳庵原郡医師会長、鈴木圭子様（患者代表）、
 加治正行静岡市保健所長、畑隆志清水病院副院長

- 4 次第
 病院長挨拶
 委員紹介

【議事】

- (1) 地域医療支援委員会について
 (事務局より説明)
- ・ 地域医療支援病院に関する説明
 - ・ 地域医療支援委員会の役割
 - ・ 本年度の地域医療支援委員会の開催について
- (2) 平成23年度地域医療支援病院業務報告書の概要
 (事務局より説明)
- ・ 静岡市保健所を經由して、静岡県知事あて提出予定の平成23年度地域医療支援病院業務報告の概要について説明。(業務報告書は平成24年10月5日までに提出する。)
- (3) 平成24年度の清水病院の現況等報告
 (事務局より説明)
- ・ 平成24年4月～8月までの現況を報告
- (4) 意見交換
- A委員 救急患者の対応に努力している様子がよくわかった。来年から静岡市の夜間の救急体制が変わるが、これについてはB委員が詳しいのでご説明をお願いしたい。
- B委員 現在、城東町にある静岡市急病センターは仮施設である。指定管理で受け、今年度

で5年経過したが、耐震と手狭という理由で東静岡に移る。午後7時～10時までの一次救急の内科、外科、小児科を担当し、清水医師会のサポートもいただいている。移転後も現在と内容は大きくは変わらないが、場所が変わるため市民に案内をきちんとしたい。行政にもお願いしている。また、開業医の高齢化の問題もある。

- A委員 区民の皆さんに新しい救急体制について知ってもらいたいが、間違っ清水病院に来る方もいると思われるので対応をお願いしたい。
- 県の会議で、個人情報について電子カルテへのアクセス権の問題が出た。医師はカルテの右側も左側も全部見ることができるが、事務系の方が左側診療記事の内容まで見るのはいかがなものかという意見があった。システムで見られないように対応している病院もあると聞いており、今後いろいろ言われるようになってくると思われるがいかがなものか。
- G委員 先日、当院でもシステムでどこまで対応できるか話題になった。職種によって区別できるか等、見直しを行っている。個人情報保護委員会でも検討している。
- 委員長 当院のNECの電子カルテは、職種ごとの細かい制限が不充分である。
- A委員 病診連携室やレセプト点検の人たちはアクセスの必要がある。急ぐことはないが、議題にあげて検討をお願いしたい。
- 委員長 誰でも全情報を閲覧できてしまうのは問題。
- A委員 この問題に関しては、開業医には対応難しい。
- B委員 事務は受付業務しかしていない。病院のほとんどは電子カルテ化されている。職種による棲み分けは必要。
- 委員長 NECのシステムはいくつかのシステムはできるが、細かく職種ごとにはできないので、次期システムに入れ替える時に対応を考えている。
- A委員 病診などでは必要なもので、そのあたりはよく検討が必要。
- D委員 救急搬送の数がよく分かった。紹介、逆紹介について説明があったが、紹介率と逆紹介率のアップはどちらを重点的に考えているのか。
- G委員 病診連携を高めていくには、地域の医師にその後のフォローをお願いし患者を戻すことも大事なので、どちらも大事。片方だけ伸ばすことはしない。これは車の両輪のようなものだ。
- D委員 あまり逆紹介すると清水病院の患者が減ってしまうのではないかと心配になる。
- 事務局長 この場合の逆紹介というのは、診療情報提供料の算定のことであり、レセプト上患者1人に対し1ヶ月に1回算定できることになっている。従って、逆紹介が多くなったからといって当院の患者減少にはつながらない。
- A委員 口腔外科の紹介患者が多いが、歯科医師会に入っていない診療所でトラブルが多いと聞いている。清水病院に迷惑をかけていないか？
- 事務局 病診連携室には特に情報はない。
- A委員 往診専門の診療所が開業するという話があり、今後増える可能性もある。設備が無く狭いアパートでも開業できるため、とんでもない医師にそれをやられると医師会にも病院にも迷惑がかかる。患者も困る。注意を払うことが大事だと考える。情報があれば気をつけていく必要がある。

- 委員長 これは東京などで問題になっており、医師会に属さない医師が多くなっている。ただ、地域の医療を担ってもあるので、巻き込んでいく必要もあるかもしれない。
- A委員 区民のためにある程度我々も注意しておくことは大事である。
- 委員長 なるべく可能な限り患者を受け入れたいが、当院は医師一人当たりの救急患者数が一番多い。医師を増やすのが一番大事だが、スタッフもいかに増員するかも大事である。
- 病院局長 医療現場はマンパワーに支えられている。医療の質を左右することは承知しているが、静岡市役所全体で行財政改革の一環として定員管理計画を行っている。平成23年4月1日から平成27年までの5ヵ年計画で230人削減を求められ医療職も含まれている。各局に5年間でいくら削減するか求められているが、病院局ではプラスになっている。これは、清水病院がICUを平成27年に稼動するため、医療スタッフを増やすためである。病棟薬剤師も増やしたいが、病院局の中で調整しなければならない。定員管理計画が足枷となっているため、定員管理から医療職を外すように総務局に要望を出した。10対1看護をやっているのは両市立病院のみである。
- 委員長 100歳以上が5万人を超え高齢化が進んでいる。地域医療を支えていくには人員が必要なので是非ともお願いしたい。
- E委員 9月議会で清水区の医療をどうしていくのかとの質問があり、ハードとソフトを整備していくという市長の方針が示された。そうした中で、医師会との連携で、紹介率、逆紹介率のアップは嬉しい。さきほどの説明の中で「清水病院に紹介してもらってよかったと言われる病院でありたい。」というのは素晴らしい目標である。
- F委員 口腔外科の紹介率が高い。いくつか問題も生じたがきちんと対応してもらえた成果が出ている。病院から診療所へしっかり返すというルールができてきた。紹介した患者の情報を互いにしっかり把握して返すため報告会を実施してもらっている。また、セミナーや講演会も開催してもらっていて、トリアージについても開催してもらった。清水病院の優秀な医師から講演会で勉強させてもらおうと信頼感もアップする。
- D委員 ドクター同士顔と顔を合わせる関係が大事だ。
- 委員長 科別に研修会などをおこなっているが、もっとやっていきたい。
- D委員 往診専門の診療所の話が出たが、幸い歯科で困った事例は出ていない。むしろ会員が迷惑をかけているかもしれない。薬剤の扱いが雑になってきているとの話があるので、清水病院の医師による指導があればと思う。歯科も紹介のやりとりが増えているので、今後もっと簡単にできたらと思う。
- 委員長 いろいろご意見をいただきました。定刻も過ぎましたので、他にご意見等なければこれで終了します。本日はありがとうございました。

平成24年度第1回

静岡市立清水病院地域医療支援委員会

日 時 平成24年9月28日（金）19時～

場 所 静岡市立清水病院 本館2階会議室

次 第 病院長あいさつ

委員紹介

議 事

- (1) 地域医療支援病院平成23年度業務報告の概要
- (2) 平成24年度の清水病院の現況等報告
- (3) 意見交換

平成 24 年度 第 2 回静岡市立清水病院地域医療支援委員会 概要

- 1 日 時 平成 25 年 3 月 25 日 (月) 午後 7 時～午後 8 時 10 分
- 2 会 場 清水病院 本館 2 階 会議室
- 3 出席者 委員長 米川甫清水病院長
委 員 松永元良清水医師会長、青山茂夫静岡医師会長、
日野昌徳庵原郡医師会長、高尾和秀清水区歯科医師会会長
小林寛子静岡歯科医師会副会長、小林みどり県立大学教授、
加治正行静岡市保健所長、畑芳明静岡市保健衛生部長、
上松憲之病院局長、畑隆志清水病院副病院長、
増田昌文清水病院診療部長、藤井浩治清水病院副院長
<事務局> 望月泰清水病院事務局長
渡辺久訓病院総務課長
杉浦信久医事課長
地域医療支援室 長田主幹、薩川主任看護師、山本主査、山梨主査
欠席委員 鈴木圭子様 (患者代表)、

4 次 第

病院長挨拶

- ・当院は平成 23 年 9 月に地域医療支援病院として承認をうけたが、医師会を始めとする皆様方のお力添えによるものである。
- ・病診連携においては、地域の医師が当院の施設や機材を使用できるようにしている。また、感染防止などの講演を実施して、地域の皆さんに常に新しい医療を提供できるようにしている。
- ・当院に来院される患者の 94% が清水区民である。他病院における地元の患者が約 40% であることを考えると同規模病院の中でも当院は特殊な環境であり、地域の皆様のご支援がなければ成り立たない病院である。
- ・昨年 11 月 27 日に病院機能評価のバージョン 5 から 6 への審査があり、3 月 13 日に認定証が届いた。
- ・私事ではあるが、この 3 月で清水病院長を退任するため、後任に内定している副院長を今委員会に参加させていただいた。よろしく願いたい。
- ・本日は、委員の皆様の忌憚のないご意見をお願いしたい。

【議事】

(1) 清水病院の現況報告

(事務局より説明)

- ・ 地域医療支援病院について (平成 24 年度実績報告)
- ・ 地域医療支援病院紹介率、逆紹介率について
- ・ 地域の医療従事者の資質向上のための研修について

(2) 意見交換

- 委員長 地域医療支援病院の条件に24時間救急医療の提供がある。当院は年間100日の当番日があるため24時間365日の救急は無理である。清水区は輪番制で対応している。当番日でない場合は、当直Dr.1名。脳外、外科、整形外科の外科系はオンコール3名体制をとってオペできるようにしている。紹介しても大丈夫という印象を与えていると思う。
- G委員 オープンシステムについては、あまり利用されていないと残念である。患者への請求が生じるからなのか。療養担当規則上、請求しないことはいいのか。何らかの条件を満たしていないからか。
- 事務局 診療報酬上のレセプト請求をすると共同指導料350点で3,500円。そのうち3割が患者負担となり7割が病院負担となる。当院は患者への請求はなく、利用された医師に対して3,500円を支払っている。
- G委員 それは、病院の持ち出しということか。
- 事務局 持ち出しとしている。静岡病院や日赤病院は診療報酬上の開放型病院となっているので、共同指導料を病院と開業医がそれぞれ請求し、開業医の方でも患者へ請求されるため、対応に苦慮していると聞いている。患者に負担させるよりも病院で持つということでスタートした経緯がある。
- B委員 開放型病院として届出をしていないとオープンシステム自体が存在しないことになるのでは。
- C委員 診療報酬上認められているものを診療費の割引として請求しないのは違法となるのではないか。入院診療は保険適用でやっているわけだから。
- 医事課長 通常、開放型病院として施設基準を届出して、その指導料を算定することになる。当院ではオープンシステムを地域の方と始めた時に、診療報酬上の施設基準の届出はしていない。
- 委員長 前提となる開放型病院として届けていないのは何故か確認をしていただきたい。これまでの話から、オープン利用者が少ないのはお金の問題ではないと思われるが、何故だろうか。
- A委員 もし利用するとしたら、どういう患者さんがどのようにして利用したか、実際の事例がわかれば利用しやすくなるかもしれない。
- 委員長 利用数が増えるようにするには、理由をはっきりさせていく必要がある。今後の課題としたい。
- A委員 葵区や駿河区の病院から清水区で開業した医師が、オープンベッドを利用することがあるが、自分が勤めていた病院を利用することが多い。
- 委員長 病院のOBに働きかけても良いかもしれない。
- B委員 個人的な意見であるが、病院に行くこと自体が負担になる。時間的にも難しい。
- 委員長 紹介元の医師がふらっと病棟に来て、患者さんに様子を聞いていくことがあるようで、何度かお見かけしたことがある。
- A委員 金曜日の緊急患者が多いとあったが、開業医も金曜日の昼過ぎに受診される患者が多い。患者は土日を迎えると不安になるようで、月曜日に病院に行くのでは日が開きすぎてしまうと感じるようだ。

- 院内委員 初診外来をやっていると金曜日に受診される患者は確かに多い。
- 院内委員 月曜日と金曜日は受診が多い。
- 委員長 開業医だけの問題ではなく、患者の不安の問題である。
- 副院長 土日を迎えること自体が不安となるようで、その前に行っておこうという気持ちになるようだ。
- H委員 静岡市ではセーフティネットとして、一次救急は4月1日から急病センターが開所する。輪番救急では補助金を出して清水区では3病院が実施しているが、清水病院の負担は大きくなっている。先の米川委員長の話にもあるように、清水病院の94%の患者が清水区の患者であり、清水病院が担っていただかないと医療体制が破綻してしまう。よろしくお願ひしたい。
- A委員 清水に大きな公的病院は3つあるが、清水厚生病院も桜が丘病院も診療科が少ないために、どうしても清水病院に負担をお願いせざるをえなくなってしまう。厚生病院ももう少し診療科を増やしてくれるといいのだが…。静岡の2次救急の輪番制は全国でも誇れるものであり、患者のたらい回しもない。静岡医師会長の尽力によるところが大きい。しかし、それを知らない市民が多く恩恵を受けているということを知らない。他の地域ではもっと大変。
- 委員長 この前、向井先生が長崎で静岡市のイーソーネット病診連携の話をされたが、レベルが違いすぎてピンとこなかったようだ。
- F委員 4月から急病センターができるというのは、市民にとって大変ありがたい。患者の94.6%が区民で本当に地域密着型の病院である。医師数に対して外来患者数が多く、救急患者数も多い。地域連携も件数が多く対応されていて連携で努力されている。土日、休日、夜間の体制もすごく整っている。市の広報誌を見るとどの医者にも何時から何時までにかかればいいのか表になっている。ものすごく恵まれていることが地方から来るとわかるが、ここに住んでいると当たり前だと思ってしまうのは残念に感じる。患者相談の退院援助が年間8,700件あるが、これはケースワーカーが療養型病院や回復期リハビリ病院などを紹介するのに、かなり苦勞されて紹介されているのか、すぐに見つかるものなのか。
- 事務局 各施設とは親密に連携しているので、転院先を探すのにはそれほど苦勞はしないが、経済的な問題で安い施設でも行けない患者がいる。一番苦慮しているのは、自宅介護できないが施設にも行けない患者である。
- F委員 一番安いところでもいけないのか？
- 事務局 そのような患者もいる。
- D委員 診療費の支払いで入力ミスにより、払い過ぎや払い足りないことが起こる場合がある。払い足りない場合は、今月中やその次月までに病院へ来て払うことになるが、歯科の場合は治療回数が少なかったり駐車場が混んだりして来るのが大変。振込みはできず、払い過ぎで還付の場合は銀行振込のみの返金しかできない。病院に銀行の通帳やハンコを持って来てと言うのにその日は払えない。これはどうかと思う。
- 医事課長 検査などでも還付が発生する時がある。銀行振込による還付とさせていただいている。市立病院として現金の取扱いは法的に制限があり、職員の取扱いには限界がある。現金を準備して支払うことはできない。振込代がかかってしまうので利便性が

高い方法がとれればと考えてはいる。

- D委員 何万円もの還付ならされるなら無理をしてでも来るが、数百円位ならわざわざ来ないかもしれない。
- 医事課長 電話で次回の診療の時の還付だとか、郵便で届けてもらうなど相談させていただいているが、コストばかりかかってしまうので、もう少し努力したい。
- D委員 紹介の中には、インプラントの紹介が多いが、病院の施設を使うとお金がかかる。施術がうまくいかなかった時は期間をおいて次回再度施術することもあるが、そうするとまたお金がかかってしまう。
- 医事課長 自費であるインプラントの料金は条例で設定している。現在のインプラントの条例価格の設定には当時私も関わっていて苦労した記憶がある。
- D委員 3本のうち1本は再度日をあけてやることあるが、一連の治療なのに費用がかかり、二重の支払いとなってしまうこともあるのでは。
- 医事課長 うまくいかなかった場合でも一連の治療であるということであれば…。口腔外科の医師とも相談したい。
- D委員 歯科（口腔外科）のDr. とはうまくやっているのでよろしくお願ひしたい。
- 事務局長 確認をしたが、今の条件からいうと診療報酬上は開放型の指導料を算定できる。当時は、おそらく開放型をとる以前に地域医療支援病院として登録したことで条件を満たしていなかった。今は条件を満たしているので登録はできる。今後見直しを検討する。
- B委員 お金をとっていないからいいだろうということにはならない。
- 委員長 詳細を調べて、次回までの宿題としたい。
- F委員 地震発生時の各診療所との連携などはどうなっているか。
- H委員 災害時には医療の確保が大事であるが、軽傷患者から重症患者までが1ヶ所に集中すると機能なくなってしまう。市内にいくつか救護所を設置し、医師会の医師や薬剤師と協定結んでおり救護所に来てくれることになっている。そこで一次的に診てトリアージを行い重ければ病院へ救急搬送する。病院と診療所と救護所が協力し合って災害時にあたることを想定し、役割分担について話し合っている。
- 委員長 以前から市を中心にして災害時のシステムはあるが、この間の大災害で見直す作業を行っている。
- A委員 津波が来る所に救護所があるので見直しをしているが、地元の抵抗もあつて調整をしている。県でも医療コーディネーターを選出して、病院を中心としてやっていくので、連絡方法について協議もしている。もう少しすると出てくるかもしれない
- 委員長 県で登録している医療コーディネーターを各病院から選出している。当院では西山先生が救急を担当している。
- A委員 最後に3月31日で退任される病院長に拍手を送りたい。（一同拍手）
- 委員長 これにて平成24年度第2回静岡市立清水病院地域医療支援委員会を終了いたします。次回の日程は…。
- 事務局 次回の日程は9月頃を予定している。また改めてご案内させていただく。

平成24年度第2回

静岡市立清水病院地域医療支援委員会

日 時 平成25年3月25日(月) 19時～

場 所 静岡市立清水病院 本館2階会議室

次 第 病院長あいさつ

議 事

- (1) 清水病院の現況報告
(平成24年度地域医療支援病院実績等)
- (2) 意見交換

静岡市立清水病院地域医療支援委員会

(平成 24 年度)

(敬称略・順不同)

所 属	役 職	氏 名
静岡市清水医師会に属する医師	清水医師会会長	松永 元良
静岡市静岡医師会に属する医師	静岡医師会会長	青山 茂夫
庵原郡医師会に属する医師	庵原郡医師会会長	日野 昌徳
静岡市清水区歯科医師会に属する 医師	清水区歯科医師会 会長	高尾 和秀
静岡市静岡歯科医師会に属する医 師	静岡歯科医師会 副会長	小林 寛子
学識経験のある方	静岡県立大学 経営情報学部教授	小林 みどり
地域医療を受ける者の関係団体の 代表 (患者代表)	患者代表	鈴木 圭子
静岡市保健所	保健所長	加治 正行
静岡市保健福祉子ども局	保健衛生部長	畑 芳明
外部委員		9 名
静岡市病院局	病院局長	上松 憲之
静岡市病院局清水病院	病院長	米川 甫
静岡市病院局清水病院	副病院長	畑 隆志
静岡市病院局清水病院	診療部長	増田 昌文
病院側委員		4 名